【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【公表番号】特表2009-525038(P2009-525038A)
【公表日】平成21年7月9日(2009.7.9)
【年通号数】公開・登録公報2009-027
【出願番号】特願2008-552885(P2008-552885)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/15　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/19　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/21　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/10　(2006.01)
Ｃ１２Ｐ　21/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ｃ１２Ｎ　1/15
Ｃ１２Ｎ　1/19
Ｃ１２Ｎ　1/21
Ｃ１２Ｎ　5/00　Ａ
Ｃ１２Ｐ　21/02　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成24年2月3日(2012.2.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
完全パリンドロームオペレーター配列に基づく組換えタンパク質発現系であって、
（ａ）プロモーター；および
（ｂ）二つまたはそれより多くの完全パリンドロームオペレーター配列であって、少なくとも一つのオペレーター配列が該プロモーターの下流に位置し、そして少なくとも一つのオペレーター配列が該プロモーターの上流に位置する、二つまたはそれより多くの完全パリンドロームオペレーター配列
を含み；該プロモーターがＴ７ではないことを特徴とするタンパク質発現系。
【請求項２】
プラスミドであって、
（ａ）プロモーター；および
（ｂ）二つまたはそれより多くの完全パリンドロームオペレーター配列であって、少なくとも一つのオペレーター配列が該プロモーターの下流に位置し、そして少なくとも一つのオペレーター配列が該プロモーターの上流に位置する、二つまたはそれより多くの完全パリンドロームオペレーター配列
を含み；該プロモーターがＴ７ではないことを特徴とするプラスミド。
【請求項３】
タンパク質のための発現カセットを更に含む、請求項２に記載のプラスミド。
【請求項４】

プラスミドが、自律複製性プラスミドである、請求項２または請求項３に記載のプラスミド。
【請求項５】
プラスミドが、組込みプラスミドである、請求項２または請求項３に記載のプラスミド。
【請求項６】
請求項２～５のいずれか１項に記載のプラスミドで形質転換された宿主細胞。
【請求項７】
組換えタンパク質の製造方法であって、
（ａ）プロモーター；
（ｂ）二つまたはそれより多くの完全パリンドロームオペレーター配列；および
（ｃ）組換えタンパク質のための発現カセットであって、少なくとも一つのオペレーター配列がプロモーターの下流に位置し、そして少なくとも一つのオペレーター配列がプロモーターの上流に位置する、二つまたはそれより多くの完全パリンドロームオペレーター配列
を含み；該プロモーターがＴ７ではないことを特徴とする発現系を発現することを含む方法。
【請求項８】
プロモーターが、宿主細胞ポリメラーゼプロモーターである、請求項１～７のいずれか１項に記載の発現系、プラスミド、宿主細胞または方法。
【請求項９】
プロモーターが、大腸菌（Ｅ．coli）ＲＮＡポリメラーゼプロモーターである、請求項８に記載の発現系、プラスミド、宿主細胞または方法。
【請求項１０】
プロモーターが、Ｔ７Ａ１、Ｔ７Ａ２、Ｔ７Ａ３、λｐＬ、λｐＲ、ｌａｃ、ｌａｃＵＶ５、ｔｒｐ、ｔａｃ、ｔｒｃ、ｐｈｏＡまたはｒｒｎＢである、請求項１～７のいずれか１項に記載の発現系、プラスミド、宿主細胞または方法。
【請求項１１】
オペレーター系が、ｌａｃ、ｇａｌ、ｄｅｏまたはｇｌｎである、請求項１～１０のいずれか１項に記載の発現系、プラスミド、宿主細胞または方法。
【請求項１２】
二つの完全パリンドロームオペレーター配列を用いる、請求項１～１１のいずれか１項に記載の発現系、プラスミド、宿主細胞または方法。
【請求項１３】
オペレーター配列が、９１または９２塩基対間隔を置く、請求項１２に記載の発現系、プラスミド、宿主細胞または方法。
【請求項１４】
タンパク質を製造する方法であって、
（ａ）請求項３に記載のプラスミドで形質転換された宿主細胞を培養し；そして
（ｂ）該タンパク質を回収すること
を含む方法。
【請求項１５】
宿主細胞が、大腸菌（E. coli）である、請求項１４に記載の方法。
【請求項１６】
プラスミドが、請求項８～１３のいずれか１項に記載のプラスミドである、請求項１４および請求項１５のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１７】
宿主細胞が、大腸菌（E. coli）である、請求項６に記載の宿主細胞。
【請求項１８】
請求項１に記載の発現系により作製された組み換えタンパク質をヒトに投与することを

含む、ヒトの治療方法。